

創成科学研究科 資料目次

研究科資料 1 要望書

研究科資料 2 現行大学院の改組（再編）と大学院創成科学研究科設の設置

研究科資料 3 大学院創成科学研究科の構想

要 望 書

国立大学法人徳島大学
学長 野 地 澄 晴 殿

徳島大学に大学院「創成科学研究科」修士課程を早期に設置していただけますよう、次のとおり要望いたします。

貴学におかれましては、創立以来、地域の産業、文化、教育、行政及び医療の中核を担うことのできる人材を育成し、各分野で活躍する優秀な人材を県内外に輩出され、優れた教育研究実績に基づく積極的な地域貢献活動により、地域の高等教育機関の中核としての使命を果たしていただいております。また、本県も参画し、平成27年度から徳島県内の産官学が事業協働体を組織してスタートしたCOC+事業におきましては、貴学が主体となって県内の就職率の向上と雇用創出を図る取組を推進していただくとともに、平成28年4月には、長年の悲願でありました農学系新学部「生物資源産業学部」が新設され、農林水産業を支える先進的な農学系技術者等の人材育成や地域資源の価値を高める試験研究を展開する中で、その知識・技術を本県が直面する課題の解決につなげ、本県の産業振興に貢献をしていただいております。

一方、本県は、「人口減少・超高齢社会」の到来に対する危機感が一段と高まる中、平成27年7月に、「可能性の宝庫・徳島」の魅力に一層磨きをかけるべく、将来の本県が目指すべき姿とその実現に向けて「新未来『創造』とくしま行動計画」を策定し、様々な施策を積極的に展開しているところであります。これらの動きを持続可能なものとし、変化する社会経済情勢や多様化する県内ニーズに対応するためには、文理双方の技術・知恵を結合し、相互に補完し合う不断の取組が求められており、教育分野においても、高度な専門知識や技術等の修得に加えて、文系・理系の枠を超え、関連する知識を幅広く学修し総合的な思考力と多角的な視点からのアプローチができる人材育成が必要不可欠となっております。

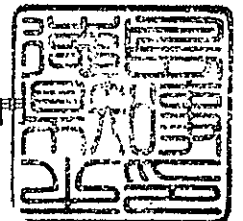
今般、貴学において、先端的な技術創成を推進する理工学分野、生物資源を活用した産業創出を実践する生物資源学分野、人間・社会・文化に関する実証的研究に着手している人間・社会・人文科学分野を融合した新しい教育体制により、グローバルかつ複合的な視点から技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成できる高度専門職業人を養成する大学院修士課程の設置について申請の運びとなりましたことは、ものづくりの基盤を支える研究開発、農林水産業の6次産業化の進展、徳島ならではの地方創生の推進など、これまでの貴学との取組をより一層発展させるものであり、大変有り難く、感謝申し上げます。加えて、平成30年度地方大学・地域産業創生交付金対象事業として認定を受けました徳島県「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」の実施におきましても、大学院「創成科学研究科」が設置されることにより、優れた光応用人材の育成等の役割を積極的に果たしていただけることと存じます。

国を挙げて取り組む「地方創生」の先導役を担う本県の一翼を担う貴学が、本県産業を支える新たな産業を創出することができる人材の育成や先端研究の拠点となる大学院「創成科学研究科」を設置されることによって、今後の本県のみならず、我が国の取り組む課題解決に寄与していただけるものと大いに期待しております。

つきましては、県内唯一の国立総合大学である貴学におきまして、早期に新たな教育体制による大学院修士課程を設置され、これまで以上に本県の発展に更なる御尽力をいただきますよう特段の御配慮をお願いいたします。

平成31年2月13日

徳島県知事 飯 泉 嘉



現行大学院の改組（再編）と大学院創成科学研究科の設置

— 教育組織の再編構想の概要 —

社会や経済情勢の変化を先取りし、地域や世界が求める人材養成に主眼を置く教育体制の導入



創成科学研究科の設置

改組（再編）前 → 改組（再編）後

平成 28 年度
学部新設・改組

平成 32 年度
大学院修士課程

平成 34 年度
大学院博士課程

※（ ）書きは入学定員。

【大学院】

総合科学教育部
(修士 47人, 博士 4人)
・地域科学専攻
・臨床心理学専攻
(修士課程)

先端技術科学教育部
(修士 328人, 博士 43人)
・知的力学システム専攻
・物質生命システム工学専攻
・システム創成工学専攻

縦割り型の
専門教育体制

柔軟な
教育体制

創成科学研究科

- ・地域創成専攻 (16人)
- ・臨床心理学専攻 (12人)
- ・理工学専攻 (308人)
- ・生物資源学専攻 (39人)
(修士 375人)

・創成科学専攻
(博士 50人)

【学部】

総合科学部
・人間文化学科
・社会創生学科
・総合数理学科

工学部
・建設工学科
・機械工学科
・化学応用工学科
・生物工学科
・電気電子工学科
・知能情報工学科
・光応用工学科

総合科学部
・社会総合科学科

理工学部
・理工学科

生物資源産業学部
・生物資源産業学科

人文・社会・人間科学の融合
理工学, 生物資源産業学,

大学院を平成32年度に設置する理由

- 地球温暖化, エネルギー問題, 過疎・高齢化等, 多様な課題を解決するため, 新たなイノベーションを創出し, 総合的・俯瞰的な視点から課題解決に当たる高度人材の養成が急務。
①社会・産業界・地域のニーズに対応できる柔軟な教育体制の構築
②分野を超えた融合教育の導入
- 徳島県から, 技術開発と産業化等による地域活性化等の多様で複雑な地域課題への対応が強く期待されている。
- 平成28年度に総合科学部, 理工学部, 生物資源産業学部を設置したことから, これら3学部を基礎とした大学院を設置し, 間断なく高度人材を養成。
- 生物資源産業学分野は従来にない新たな学問分野であり, 大学院の設置は必須。理工学分野では, 学部からの接続性に配慮した教育の実施に大学院の設置は必須。

大学院創成科学研究科の構想

創成科学研究科 - 入口から出口まで + 知の循環 -

養成する
人材像

中長期的な産業界・社会のニーズをふまえ、最新の基盤技術・基幹技術・先端技術を理解し、グローバルな視点から技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成できる高度専門職業人を養成。

博士課程 3年

博士課程 3年

修士課程 2年

学部 4年

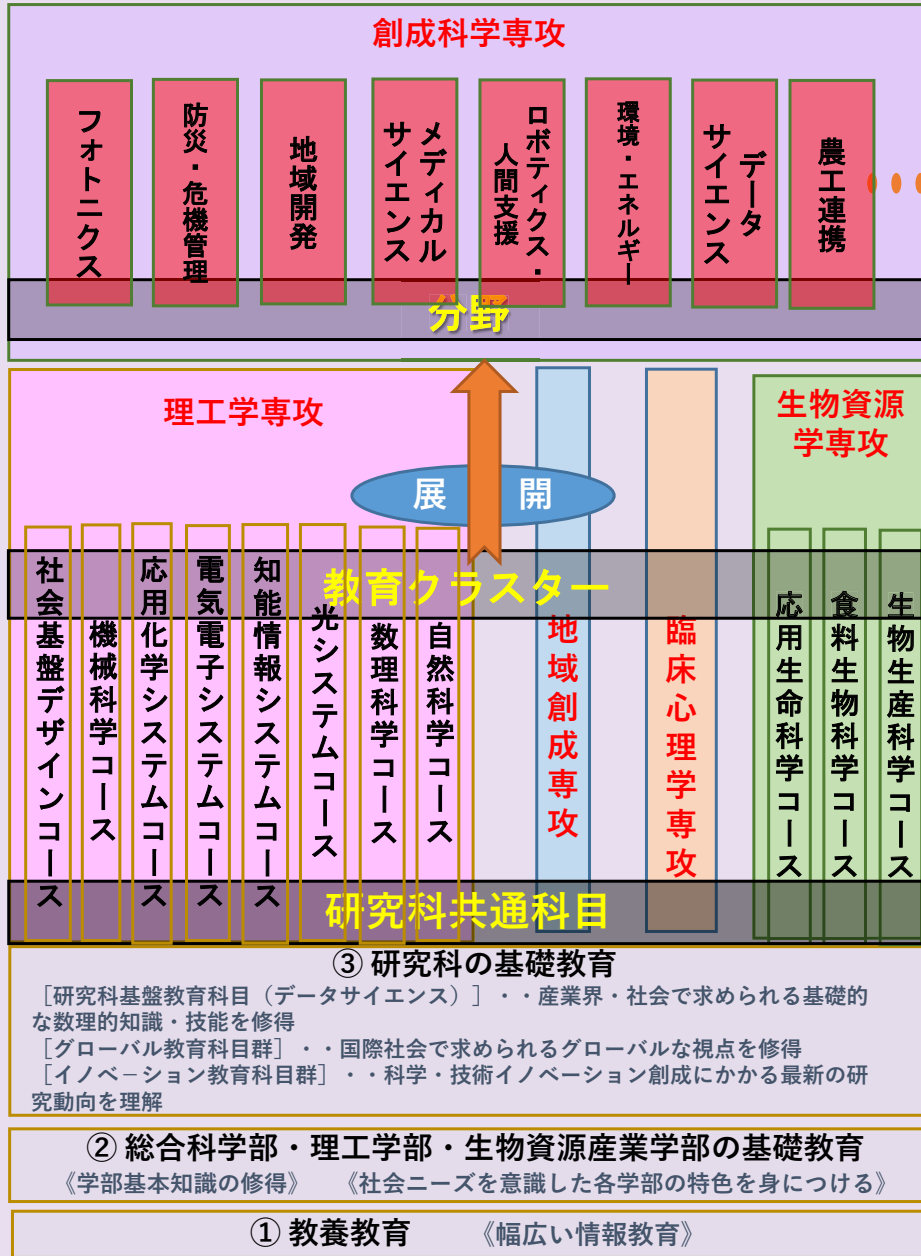
十 既存の体制に加えて

学部・修士6年の接続性に配慮

(学士)

学部・修士・博士9年の接続性も視野に

④ 研究科専門教育



地域に根ざしグローバル社会で活躍できる高度なイノベーション創成人材を創出

教育に反映

■博士課程では、複数の教育クラスターを「分野」として深化。本学の強みある先端研究分野をふまえた「融合型イノベーション人材教育」を実施。

■「教育クラスター」による産業界・社会のニーズを先取りした分野横断型教育。地域企業・行政・NPO等とも連携。

■最新の基盤技術・基幹技術・先端技術に基づく実践的な専門教育。
■研究室（専門分野）の枠を超えて、合同で研究発表や文献の輪講、討議を行う。

■基盤教育としてのデータサイエンス教育・グローバル教育・イノベーション教育

- ◆研究科基盤教育科目：データサイエンス
- ◆グローバル教育科目群：国際協力論、グローバル社会文化論、グローバルコミュニケーション
- ◆イノベーション教育科目群：科学技術論、ビジネスモデル論、デザイン思考演習

知の循環

産業界（企業）・社会のニーズ